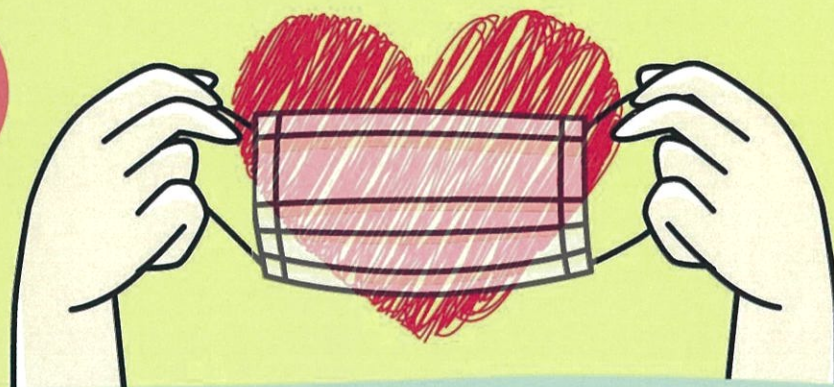


広がれ
思いやり

マスクの下は 思いやりのまち プロジェクト

聴覚障がいのある方にとって
住みやすいまちにするためにコミュニケーションカードや
マウスシールドの利用を推進しています!

感染症対策の上
必要な場面で
ご活用ください



コミュニケーションカード
(実物A4サイズ)

聴覚障がいのある方の中には手話以外に口の動き(口話)や
文字を書いて(筆談)コミュニケーションをとられる方もいます。

マスクを透明なマウスシールドに替えることにより
口の動きが見えたり、言葉を文字にすることで聴覚障がい
のある方もコミュニケーションがとりやすくなります。



マウスシールド

本プロジェクトでは、誰もが住みやすいまちづくりのために
地域のバリアフリーに取り組みます。

主催：社会福祉法人 門真市社会福祉協議会

共催：門真市

協力：門真市身体障害者福祉会ろうあ部会、門真市立沖小学校3年生「マスクの下はえがおグループ」

【お問い合わせ】

社会福祉法人 門真市社会福祉協議会

TEL：06-6902-6453 FAX：06-6904-1456

●本プロジェクトは「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」の一環として実施しております。

「マスクの下は思いやりのまちプロジェクト」とは

聴覚障がいのある方にとって
住みやすいまちにするためにやコミュニ
ケーションカードやマウスシールドの
利用を推進しています！



聴覚障がいのある方と
お話する際にご活用下さい。

【プロジェクトのきっかけ】

聴覚に障がいのある方の中には相手の表情や口の動き
(口話)を読みとってコミュニケーションをとられる方もおられます。

コロナ禍によるマスク社会で表情が見えなくなったことで
コミュニケーションがとりづらくなり困っています。



【聴覚障がい者の声※】

- ・「ポイントカードを提示するタイミングが分からなかった。」
- ・「公共料金の支払いがスムーズにできなかった。」等
さまざまな生活場面がある中で特に買い物の際に
困っているという声が多くありました。



※門真市身体障害者福祉会ろうあ部会のみなさまにご協力いただきました。

本プロジェクトではコミュニケーションカードやマウスシールドの普及
活動を行っています。みなさまのご協力をお願いします。
ご協力頂ける店舗には**啓発チラシ**と**コミュニケーション
カード、マウスシールド(1セット)**を配布致します。



着用イメージ↑



コミュニケーションカード

- 誰のため？
聴覚、音声・言語障がい者、知的障がい者、外国人など
- どのように使うの？
コミュニケーションカードでマウスシールド（透明マスク）が筆談を
選んでください。
店員さんや窓口の方は、希望されている方法で対応をお願いします。
- カードを窓口等で設置するとどうなるの？
必要な人がコミュニケーションの配慮を求めるときに指さし等
で相手に知らせることが出来ます。

